

地域包括ケアフォーラムアンケート結果（シンポジスト他）

項目	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6
講演会について	わかりやすかったです。でも、それでも難しく感じたなと思っています。	市民向けにで分かりやすさというのは難しいと思うが、とても分かりやすかった。	杉浦先生のご講義は民生委員さんたちにもわかりやすく、かみ砕いてお話をされていて、私もあらためて勉強になりました。医療の判断は一身専属性で本人しかできず、医療の現場でとても悩ましいものであることが伝わり、代弁者が大切なのだということがよく伝わられたのではないかと思います。	民生委員さんに感想をお聞きしたところ、聞きなれない言葉は丁寧に説明してくれたのでわかりやすかったと言っていました。ACPはまだまだ日常生活の中で耳にすることが少ないワードだと思うので、市民向けの啓発は継続的に行う必要性を感じます。私も今回の意見を聞いて、改めて再確認することで、知識の定着につながったと思います。	一般市民向けのとても分かりやすい内容でした。ACPとリビングウイルの違いや、ACPの重要ポイントが特にわかりやすかったです。	杉浦先生が、来訪された方々に応じて、説明も変えておられたので、全く問題なかったと思います。
シンポジウムについて	それぞれの立場で自身の役割や困難さについて示すことができたと思います。時間的にもちょうどよかったと思います。	初めての形式で緊張したが、各職種の思いだけでなく「わたしノート」がどう活かされるのかを伝えることができてよかった。	ACP難しい話ですが、ピラミッドに沿って各課題をご理解いただけたのではないかと思います。元気なうちに、人生会議を開く必要性を全体を通して学んでいただけたと思います。私にはあれ以上のものは何も出てきませんでした。	ピラミッドで、どの視点の話をするのか説明したので、それぞれの発表内容がわかりやすかったと感想をいただきました。5分以内で説明するため、言いたいことが言えたかどうかは不明ですが、私自身はとても楽しく有意義な時間を過ごすことができました。	5分で要点を伝えるのが難しかったですが、病院看護師の堀さんと事前に打ち合わせをして、お互いが伝える内容が重複しないようにしたのと、より多くの情報提供ができるように要点を絞込んだのでシンプルに大切なことが伝えられたと思います。各シンポジストの発表の後の杉浦先生の助言や補足が市民にわかりやすくてよかったと思います。訪問看護部会からサクラで質問を受ける予定のかたが、急遽欠席されたので、しみんから質問が出てよかったです。	事前の打ち合わせにて、発表の内容や順番など整理が出来たため、当日もスムーズにできたと思います。
今後のACP推進のための活動について市民に伝えたいこと	ちょっとでも手がかりを残してもらうこと、信頼できる人に思いを託すことを意識してほしいなと思います。	私たちは、その人の自分らしい生き方や暮らしを支えたいと思っています。医療・介護者と市民にはまだまだ壁があると思いますが、「わたしノート」がその壁を取り除いてくれるのではないかと考えています。私たち医療・介護者は人生のよき伴走者・ソムリエとして一緒にいろんなことを考えていきたいです。	・担当地区で一人暮らしの方に「わたしノート」の配布 ・身寄りのない方を把握し、ACPのための個別会議を行うための信頼関係づくり ・保健福祉部会にて、PJチームの課題を一つずつクリアして、「わたしノート」マイスター育成 ・市民に伝えたいこととして、元気なうちに自分のことをよくわかってくれる代弁者を人生会議を何度も開いて、たくさん作っていただきたい。	安城市の目指す姿、最後まで自分らしく生きる。その意味を理解していただきたいし、高齢者だけでなく、若い世代にも伝えていきたい。他市（蒲郡？）では、福祉学習の一環でACPについて学んでいると聞きました。安城市でも車いす体験や認知症の講座を小中学校で実施しています。ACPもメニューに入れられるとよいと思います。ACPは後悔のない最後を迎えるために、過去を振り返りながら今後どう生きていきたいか思いをはせる作業ですが、自分の人生を考える良い機会です。考えることで充実した、彩のある人生を歩んでいける可能性が広がること、をお伝えできたらと思います。	ブログをはじめ4年目ですが、何度かACPについて市民向けに意見を発信してきました。今回のシンポジウムの後自分自身の意思決定支援について考えさせられることが起きました。ACP支援やわたしノートの起債は、遺される家族やかかわった支援者のグリーフケアになることを発信したところ、読者の皆様からご意見をいただき、反響が大きかったです。事例をもとにかかわる支援者も葛藤しながら最善最適解を探っていることを伝える機会があるといいなと思います。BCP策定に関する研修会に参加した際、利用者の災害時対応を訪問看護としてどう行うかを問われ、日ごろからのACPが有事の際にも必要であると感じました。	市民の皆様にもっと聞いていただき、ACPを意識してもらいたいです。
その他			一包括だけの意見が全体の意見ととらえられてはいけないと思うところがあり、発言できず、考えている間に終わってしまった。申し訳ありませんでした。		市民が自分の人生をどう生きたいか、前向きに楽しく大切な人と考えられる社会になるといいなと思います。（壮大な理想論ですが）	